

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 1 日 (2011.9.1)

【公開番号】特開 2011-89698 (P2011-89698A)

【公開日】平成 23 年 5 月 6 日 (2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-018

【出願番号】特願 2009-243247 (P2009-243247)

【国際特許分類】

F 2 4 F 13/20 (2006.01)

F 2 4 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 1/00 4 0 1 E

F 2 4 F 11/02 1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 7 月 14 日 (2011.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

室内機の内側に配設され、赤外線により温度を検出する輻射センサーを保持して左右に回転可能なセンサーホルダーと、

前記室内機の内側に配設された駆動モーターによって左右に回転駆動される扇状連結部材と、

前記センサーホルダーの一端側外周の略半周にわたって放射状に突設され、2 つ 1 組で中央と左右の 3 組からなる 6 つの突起と、

前記扇状連結部材の外周縁側の真ん中と、左側と右側に位置してそれぞれ設けられ、前記中央の組の 2 つの突起の間と、前記左の組の 2 つの突起の間と、前記右の組の 2 つの突起の間とにそれぞれ回転角度に応じて嵌り込み、突起を押して前記センサーホルダーを回転させる 3 つのピンとを備え、

前記センサーホルダー又は前記扇状連結部材のうち、少なくともセンサーホルダーが摺動特性を有し、弾性変形する性質の素材で形成されていることを特徴とする空気調和機。

【請求項 2】

前記摺動特性を有し、弾性変形する性質の素材はポリアセタール又はアセタール樹脂であることを特徴とする請求項 1 記載の空気調和機。

【請求項 3】

前記センサーホルダーの各組の 2 つの突起の内側面は、互いに平行な直線部分と、該直線部分の先端から前記ピンと接する側と反対側へと折れ曲がった折曲部分を有していることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の空気調和機。

【請求項 4】

前記センサーホルダーの各組の 2 つの突起の間の寸法は、前記ピンの外径より小さい寸法に形成されていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の空気調和機。

【請求項 5】

前記センサーホルダーの各突起は、その幅の寸法より高さ寸法が大きく形成されていることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の空気調和機。